

令和4年度
東京都公民館連絡協議会定期総会
議 案 書 (抜粋)

日 時 令和4年4月20日(水)午後2時～
場 所 昭島市公民館 小ホール(1F)

東京都公民館連絡協議会

令和4年度東京都公民館連絡協議会 定期総会次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 議長選出
- 5 議事
 - 第1号議案 令和3年度東京都公民館連絡協議会事業報告
 - 第2号議案 令和3年度東京都公民館連絡協議会一般会計決算の認定について
 - 第3号議案 令和3年度東京都公民館連絡協議会特別会計決算の認定について
 - 第4号議案 財産に関する調書
 - 第5号議案 監査報告
 - 第6号議案 令和4年度東京都公民館連絡協議会役員の承認について

(休憩)

【新役員紹介・会長あいさつ】

- 第7号議案 令和4年度東京都公民館連絡協議会運営方針(案)及び事業計画(案)
 - 第8号議案 令和4年度東京都公民館連絡協議会一般会計予算(案)
 - 第9号議案 令和4年度東京都公民館連絡協議会特別会計予算(案)
- 6 議長退任
 - 7 閉会

第6号議案

令和4年度東京都公民館連絡協議会役員の承認について

◎令和4年度役員会候補者名簿

役職名	氏名	所属	備考
会長	西久保 陽子	町田市生涯学習センター	兼館長部会副部会長
副会長	鈴木 遵矢	小金井市公民館	次期会長市・館長部会長
理事	季高 一成	小平市中央公民館	研究大会事務局長
理事	田中 英郎	国分寺市公民館運営審議会	委員部会長
理事	野口 泰寛	国立市公民館運営審議会	委員部会副部会長
理事	山本 裕美子	西東京市柳沢公民館	職員部会長
理事	村社 竜一郎	福生市公民館	職員部会副部会長
理事	富田 泰之	東大和市立中央公民館	研修担当
顧問	伊東 静一	(元福生市公民館長)	研修担当
顧問	岩松 真紀	(明治大学非常勤講師)	研修担当
顧問	小笠原 東生	(日本女子大学非常勤講師)	研修担当
顧問	増本 佐千子	(元国分寺市立恋ヶ窪公民館長)	研修担当
監事	佐々木 辰彦	東大和市公民館運営審議会	前々会長市
監事	三木 千栄美	昭島市公民館運営審議会	前会長市
理事	西久保 陽子	町田市生涯学習センター	事務局長兼会長

令和4年度東京都公民館連絡協議会運営方針(案)

少子高齢化や人口減少など近年の急激な社会環境の変化は市民の学習環境にも大きな影響を与え、テーマや手法、場所や機会など学びに関するニーズが一層多様化しつつあります。

また、2019年12月に端を発した新型コロナウイルス感染症は2022年を迎えても終息の兆しはなく、施設の休館や利用制限を余儀なくされています。こうした状況下において、社会のデジタル化が進み、オンライン講座やリモート会議を活用した新たな学びの可能性が見出されてきましたが、一方で、急速に進む社会のデジタル化はデジタル化に対応できない市民を取り残してしまうデジタルデバイドの問題も引き起こしています。

さらに2022年2月に発生したロシアのウクライナ侵攻は、平和の人切さや国際理解の必要性について、改めて考えさせられる機会となっています。

公民館は、地域住民の生活のための学習や文化活動の場、人々の生活の課題解決を助ける場、他の専門的な施設や機関と住民とをむすぶ場、仲間づくりの場として、地域の文化の拠点として位置づけられています。

東京都公民館連絡協議会(11市)は、今日の公民館を取り巻く状況を把握し、様々な課題を共有し、その解決に向け、自治体の枠を超えた情報交換や研修の機会の確保に積極的に取り組んでいく必要があります。

以上のことから、東京都公民館連絡協議会の運営方針を下記の通り提案いたします。

記

1. 公民館における今日的な課題について、情報の交換・共有をします。
2. 地域づくりにつながる公民館事業の実践や団体との関係づくりなど、公民館の役割を学ぶ機会を充実させます。
3. 公民館関係者の情報交換・研修の場を設け、課題解決に向けた研究を行います。

令和4年度東京都公民館連絡協議会事業計画 (案)

1 第59回東京都公民館研究大会の開催

小平市を大会事務局に、2月4日(土)に加盟各市と連携・協力しながら開催します。

2 各部会の活動

(1) 館長部会

年3回程度部会を開催し、情報の交換と都公連の運営について協議します。

(2) 委員部会

委員部会全体会及び運営委員会を開催し、情報交換及び交流を行います。また、公民館に関わる課題をテーマとした委員研修会を3回程度開催します。

(3) 職員部会

原則毎月開催し、情報交換や研修会を行います。また、部会ニュースを発行するとともに、情報紙の編集に協力します。

3 研修活動

研究大会と並ぶ都公連活動の両輪として研修を重点的に位置づけ、館長、公民館運営審議会委員、職員を対象に公民館が抱える様々な今日的課題についての学習を深めます。

(1) 新任職員研修

(前期・後期)

- ・開催時期 6月と11月
- ・対象 概ね在職2年以下の公民館職員等
- ・回数 前期3回・後期2回程度

(2) 東京学芸大学連携研修

- ・開催時期 6～2月
- ・対象 公民館職員等
- ・回数 8回程度

(3) スキルアップ研修

- ・開催時期 12～1月
- ・対象 概ね在職2年以上の公民館職員等
- ・回数 4回程度

(4) 館長部会研修

- ・開催時期 通年
- ・対象 館長及び生涯学習課長等
- ・回数 3回程度

(5) 委員部会研修

- ・開催時期 通年
- ・対象 公民館運営審議会委員等
- ・回数 3回程度

(6) 職員部会研修

- ・開催時期 通年
- ・対象 公民館職員等
- ・回数 1～2回程度

(7) 障がい者学級担当者研修会

- ・開催時期 通年
- ・対象 公民館職員等
- ・回数 5回程度

(8) 保育事業担当者研修会

- ・開催時期 通年
- ・対象 公民館職員等
- ・回数 3回程度

4 都公連情報の収集と発信、連携等

(1) 情報紙『トリターマ』の発行

都公連情報紙『トリターマ』を年2回程度発行し、研究大会の案内及び報告、各部会の動き、研修の案内及び報告、公民館の今日的な課題の提起等、公民館関係者及び地域住民への情報提供に努めます。

(2) 関係する機関との連携

全公連、関プロ公連及び他県の公民館のほか、各種の教育機関との交流を図り、情報を収集し加盟公民館に提供します。

(3) 調査及び研究への取り組み

三多摩地域の公民館の財政や職員体制等の基礎調査を行うと共に、分析結果を公表し都公連の運営に役立てます。また、公民館職員の相談機関としての役割を担います。

(4) 関東甲信越静公民館研究大会の東京都担当分科会の取り組み

関東甲信越静公民館研究大会に際し、東京都が担当する分科会の運営（企画、助言者・事例発表者・司会者等の調整、実施等）を行います。

(5) 東京都公民館連絡協議会ホームページの運営

東京都公民館連絡協議会の公式ホームページを運営し、情報提供の取組を拡充します。独自ドメインの導入や、使用できる容量が大きい有料ホームページサービスの活用については、東京都公民館連絡協議会の財政状況に鑑みながら検討を行います。

5 都公連の運営

(1) 総会・役員会の開催

東京都公民館連絡協議会規約に従い、各種の会議を開催します。

(2) 優良公民館・優良職員の表彰候補者推薦

文部科学省・全公連からの求めにより、各種表彰候補の推薦を取りまとめます。

(3) 東京都公民館連絡協議会から脱退した市、公民館の存在しない市を含めて、全ての東京都の市、町を対象にした東京都社会教育・生涯学習施設連絡協議会創設に向けての研究を進めます。

(4) 今後の研究大会の運営について

研究大会をさらに実りある学習の場にするために、運営やあり方について検討します。

東京都公民館連絡協議会役員等当番市一覧表

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
会 長		昭島市	町田市	小金井市	
副会長 (次期会長)		町田市	小金井市	小平市	
館長部会	部会長 (副会長兼務)	町田市	小金井市	小平市	
	副部会長 (会長兼務)	昭島市	町田市	小金井市	
委員部会	部会長	日野市	国分寺市	国立市	
	副部会長 (次期部会長)	国分寺市	国立市	西東京市	
職員部会	部会長	国立市	西東京市	福生市	
	副部会長 (次期部会長)	西東京市	福生市	狛江市	
東京都公民館研究大会事務局		小金井市	小平市	日野市	
監 事	(前々会長市)	狛江市	東大和市	昭島市	
	(前会長市)	東大和市	昭島市	町田市	
東京都公民館研究大会課題別集会担当		町田市 小平市 職員部会 委員部会	日野市 国分寺市 職員部会 委員部会	国立市 西東京市 職員部会 委員部会	
備 考					

(当番：市政施行順)

昭島市→町田市→小金井市→小平市→日野市→国分寺市→国立市→西東京市→福生市→
狛江市→東大和市